

座間道院 関係者 寄稿文

座間道院 30 周年記念に寄せる雑感

座間道院 小瀧 幸一

座間道院 30 周年記念にあたり、心よりお慶び申し上げます。

私が少林寺拳法に入門したのは、高校 3 年生 18 歳の時です。入門してから藤野先生をはじめ、多くの先生方、先輩、同期生から、また後輩の方から数多くの教えをいただき、私自身の人生に指針を与えていただいたことを感謝致しております。

過ぎし日は、大変短いようにも感じておりますが、五十路を迎えた現在、拳法で学んだことが実践できているかと省みるに、まだまだ隙、無駄のある日々を過ごしているとの感が強いのが正直な思いです。

一つ例を挙げるとすれば「人は形から入ることが大切である」との教えです。スポーツであれ仕事であれ、また、プロであれアマであれ、その道を極めた人、或いはそれに近づこうと努力している人の姿には、美を感じ取ることができ、人を感動させることさえ可能となるのです（拳法の技術も同様ですが）。

私は、年齢的にも生活のほとんどを仕事に費やす時間の過ごし方ですが、仕事における自らの態度、また、私生活における態度を振り返るに、未熟である自らの姿を再確認することができました。

その大きな要因としては、仕事を理由に自らの努力が疎かになっていることだと思います。藤野先生からも、常々「自分が大変だと思っても、人によっては捉え方は異なり、実は大変でないことが多い。要は物事の捉え方だ。」との教えが、身にしてみる今日です。

私自身は、人生で言えば集大成に向けた時期に入り、正にこれからの日々の生活における過ごし方が大切であると痛感しております。年齢に応じた立ち振る舞い、姿形から、一步でもプロに近づく努力をしていきたいと思っております。

藤野先生は、今年大病を患われ、今後も治療が必要とのことではございますが、先生は病気に対し真正面から対峙され、そのお姿から大変感銘を受けると同時に、現在は経過も良好と承り、一安心致しております。

座間道院も 30 周年記念を迎え、人生で言えば正に働きざかりの年代となりました。

これから 40 周年、50 周年を迎えるまでは、藤野先生には大変酷であると思いますが、道院の第一線でご指導していただかなくては門下生一同が困りますので、お体にご自愛され、私たちに今後も御指導いただきたいと思っております。



株式会社

レイケン



ESCO 推進協議会賛助会員

東京都中央区日本橋茅場町 3 丁目 7 番 6 号 〒103-0025

TEL 03-3663-5741 FAX 03-3663-5740

本社、大阪支店（大阪営業所、中部営業所）、静岡営業所、南関東営業所、北関東営業所、環境システム部、大阪工場

座間道院30周年おめでとうございます

元座間道院 間瀬玲子

座間道院30周年おめでとうございます。私が入門したのは、今から25年前、10歳の時でした。振り返ってみると、藤野先生をはじめ皆さんは、練習も遊びも本気で、子供の私から見ても、充実感を持ち、生き生きと輝いていました。私はそんな藤野先生のお人柄、そこに集う人々に惹かれ、道院に通っていたように思います。皆さんは、優しく、そして真剣に私の相手をしてくださいました。叱られたこともありますが、適当にあしらうことなく、きちんと向き合ってくださいました。練習や多くの体験を通じ、命の大切さや、努力は報われることを教えていただきました。結果が悪くても、頑張りを認めてもらえる喜びを知りました。

座間道院で学んだことは、今も私の心の支えです。私には二人子供がおります。息子は、私が入門した時と同じ年齢になりました。人は努力が認められない時、無気力になっていきます。先生が私にしてくださったように、私も子供を認め、きちんと向き合っていきたいと思います。そして、生きている喜びや実感を感じられる子になって欲しいと願っています。



「己こそ己の寄るべ・・・」今でもこの言葉が頭をよぎります。子供に「自立」と「自律」を教えると共に、私も自分に責任を持てる人間でありたいと思っています。道院を離れ長い年月が経ちましたが、今でも繋がりを持てること、大変ありがたく感謝しています。座間道院の一員であったことを誇りに、これからも頑張っていきます。

合掌

(社)日本専門新聞協会加盟社

◎各種出版 ◎企画 ◎印刷 ◎販売

 株式会社 **税 経**
www.zeikei-news.co.jp

本社	〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-1-1	☎ 03-3985-3111(代)	☎ 03-3985-3112
大阪支社	〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19	☎ 06-6363-1951(代)	☎ 06-6363-1952
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄4-13-19	☎ 052-241-3131(代)	☎ 052-262-3132
広島支社	〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-26	☎ 082-227-6200(代)	☎ 082-227-6221
金沢支社	〒920-0961 金沢市香林坊2-12-20	☎ 076-262-3110(代)	☎ 076-262-7094

旬刊 **税経**
社団法人日本専門新聞協会加盟社

月刊 事務所ニュース

税務カレンダー
ブック・日帳・デスクマット

改正税法
の手引き

5年
贈呈

職員配属便覧

ホームページ作成サービス

感 謝

座間道院 玉川大学少林寺拳法部OB 合志 淳

合 掌

座間道院30周年おめでとうございます。あらためて藤野先生をはじめ、諸先輩方、仲間たちに心から感謝を申し上げます。

今、昨日のここのように思い出される思い出は、ほとんどと言っていいほど藤野先生や座間道院がらみです。上溝にお邪魔してのジャックダニエルへ辿り着くまでの長い道程。痛くて怖いフンドウやエアガン。焼身自殺疑惑事件。ピシピシと音を立てて凍っていく川の中で泳がせていただいたこと。ゴンちゃんに上溝周辺を散歩に連れて行ってもらったこと。火の棒を振り回すお友達。S楽君、H積君、H山君たちとやめておけばいいのに理由もなく競うように飲んで吐いて過ごしたキャンプ。いつも泰然とされていて、厳しくも本当に優しい先生の姿。枚挙に暇がありません。

新潟に来て18年になります。人や物を限りなく大切にしてくださる藤野先生の門下でなければとっくの昔に除籍に間違いないと思い、感謝しても感謝し切れません。仲間からは拳技はもちろんのこと、人としての質でも大きく差をつけられていることを感じますが、いまだに藤野先生の、座間道院の門下であることの誇りが自分を支え続けてくれています。



誰も見ていなくても、「藤野先生の門下であるから」という自負が自分を律してくれています。本当にありがたく、幸せなことだと思っています。なかなかこの恩義に報いられませんが、過程に熱く、結果に潔い、凜とした日本人を一人でも多く育てられるよう努力していくことによって、少しでも恩返しができたらと思っています。

今年はいろいろなことがありましたが、藤野先生の御健康と御多幸、座間道院のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

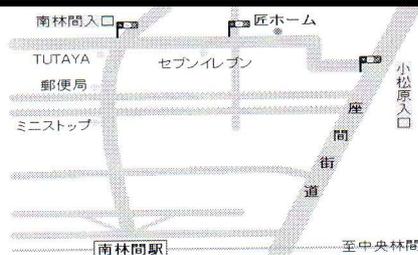
結 手

『時代と共に、心を込めた家作り』

 株式会社 匠ホーム
TAKUMI

◆営業時間 9:00~17:30 (年中無休)

◆業務内容 建築工事全般



〒228-0002 座間市小松原1丁目16-13
TEL. 046-256-9926 FAX. 046-256-9836
<http://www.takumi-home.com>

座間道院の最年長拳士になりました。

座間道院 高橋 義吉

須長先輩が現役の間は座間道院で2番目でしたが、現在は現役最年長拳士になりました。

敬老精神をほとんど持たない皆さんに鍛えられています。特に、眼鏡の上から目打ちをしてくれる早川先輩や、元気な桜美林を始めとする学生達に囲まれて至福な日々を送っています。

座間道院設立20周年の時は高校生だった次男や中学生だった三男も、もうすぐ全員社会人になろうとしています。20周年記念の中国旅行では、次に行く時は僕たちがお父さんを招待すると嬉しい事を言っていました。空手形になりそうです。



← 西安

嵩山少林寺

→



藤野先生の法話で少林寺拳法はその人のライフステージに合わせて若い人は若い人なりのハードな稽古や体力を維持する年相応な稽古があるとおっしゃっていた通りに無理をせず怪我をしないように息を切らせながら稽古に励んでいます。アヒルの子が白鳥になるような真似は出来ませんが自分なりに技術と精神を高めていこうと思っています。



井澤歯科医院

院長 井澤 政紀

休診日 木曜・日曜・祝祭日

〒230-0012

横浜市鶴見区下末吉 1-1-18

TEL 045-585-1324 FAX 045-585-1324

祝 座間道院

大橋 秀治

拳士 大橋知堯

拳士 大橋拓堯

住所：座間市相模が丘6-15-3

電話：046-254-8664

座間道院 岡 直樹

1985年4月、花のキャンパスライフに期待を膨らませ、鼻息荒く桜美林大学の校内を闊歩していた時、突然見知らぬ先輩に両脇を抱えられ、連れてこられたのが少林寺拳法部で、それが藤野先生と座間道院との法縁でした。その後の大学生活は、少林寺拳法のお陰で想像していたのとは別の意味で、非常に充実した、かなり濃すぎた花のキャンパスライフを送ることができました。

大学4年生の夏、担当の教授から卒業させてやるとの約束を貰い、1年間南米を放浪し、帰国後は何の迷いも無く相州共和道院に転籍。それから2~3年は道院に通っていましたが、今思えば何の気の迷いか、一切の連絡もせずに道院から足が遠のき、先生をはじめ皆様にかなりのご迷惑をお掛けしてしまいました。そんな不義理を働いた私にも、河口湖合宿や周年行事等の節目には必ず誘って下さり、とても嬉しかったのを覚えております。

そんな私が復帰したきっかけは、約5年前に少林寺拳法への思いが高じた頃、不思議なことにドンピシャのタイミングで藤野先生がぶらりと会社に訪ねて来て下さり、「岡、復帰したらどうだ」とお声をお掛けして下さったことです。不義理を働いた私を責めるでもなく、非難するでもなく、昔のように変わりなくサラリとしたお誘い下さいました。その瞬間、気持ちが一ぱりと晴れたのを今でも鮮明に覚えております。そして、恐る恐る座間道院に行ったら、先生をはじめ仲間が快く歓迎して下さい、道院の一員に加えさせていただき現在に至っております。

こうして再び藤野先生を師と仰ぐことができる幸せに浴しております。また、少林寺拳法のお陰で法縁も益々広がり、海外への出稽古や道院以外での仲間も増え、私の一生の道楽となりました。今はただ、藤野先生と仲間の皆さんとの法縁に、感謝の気持ちで一杯です。

座間道院 桜美林大学少林寺拳法部OB 須賀 稔之

合掌 座間道院設立30周年おめでとうございます。私の少林寺拳法との出会いは藤野先生が監督なさっている桜美林大学少林寺拳法部入部がきっかけでした。

在学中のころより夏休み・冬休みになると座間道院にて稽古させて頂き、バーベキューやキャンプなどのイベントにも参加させて頂きました。学ぶ時は学ぶ、遊ぶ時は遊ぶ、の精神をここで教わりました。またなかなか作れない強烈な思いでも作れました。『お前は今から鮭だ。』と言われ延々逆流を泳いだ相模川、フンドシー丁で雪と氷が漂う川での年越しシンクロナイトスイミング、そして伝説の新年人間すごろく・・・私は“振り出しに戻る”ばかりでなかなかゴールできませんでした。今思えばかなり無茶苦茶なことばかりですがこの無茶苦茶をすんなり受け入れられる程の信頼関係を築けたのは後にも先にもこの座間道院だけです。

卒業後は、拳法はもちろん趣味のバイクでも藤野先生と御一緒させて頂いております。5月、10月の年2回浅間山の麓で行われるアサマミーティングに先生のW1の爆音を聞きながら走る道中は最高です。現在私は仕事の都合上稽古に参加できず、最近では唯一の楽しみであるアサマミーティングにも参加できない状況ですが、藤野先生を始め諸先輩方から座間の一員と認めていただき心から感謝しております。

最後になりますが、藤野先生の御健康と御多幸、そして座間道院の今後益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。 結手

吹っ飛んで

座間道院 渡慶次 道瑠



僕が少林寺拳法を始めた理由は少林寺の映画を見て、カッコイイと思って、少林寺拳法に入りました。稽古は水曜日と金曜日で、僕は、中学に入ったので金曜日しか、稽古には、出られません。いつも稽古の日が楽しみです。でも、たまに、風邪をひいてしまったりしている時は、行きたくないと思いますが、稽古に夢中になっていると、元気がわいてきて、風邪なんて吹っ飛んでしまいます。それに、冬はすごく寒いですが、それに慣れてしまうと、病気にも強くなったと思います。

少林寺拳法をやっていると力、体、心も強くなっていきます。これから、もっと技などを磨いていき、自分より年下の見本となり、引っ張っていきたいと思います。

少林寺拳法を始めてみて

座間道院 永瀬 健太

僕が、少林寺拳法を始めたのは、小学校二年生の終わりに父親に、少林寺拳法をやってみないかと言われ、座間道院に、体験入門したのがきっかけです。

少林寺拳法の練習を始めてみてすごいと思いました。みんな強そうだし、すごく速いスピードで突きや、蹴りを出していたからです。僕もこんなに強くなれるかなと思いながら座間道院に入門しました。

先生達が、一生懸命練習を見てくれるので、少林寺拳法が、僕は大好きです。

僕も先生たちを見習い、一生懸命練習をして少しでも先生達に近づけるように、がんばって体も心もきたえて強くなりたいと思います。これからもよろしくお願い致します。



少林寺拳法を習い始めて
座間道院 加藤 瑠華

私が少林寺拳法を習い始めたきっかけは、せすじがグニャツとしていたからです。そんな時、秋香が、習うと言ったので、私も習い始めました。

そして、初めて、見学に行った時、すごいなあと思いました。見学していたら、「やってみる？」と言われたので、やってみました。最初は蹴るときも、突くときも、突いた後、よたついていました。

でも習い始めて見ると、楽しいと思いました。

今、拳立てが、とってもむずかしいです。手をグーで床について、やるからです。手がとても痛いんです。でもやっと最近その、じょうたいで、立てるようになりました。

11月18日は、コミュニティーセンターで演武をやりました。人が20人くらいいました。でもきんちょうしませんでした。

今は、前受け身が大変です。頭をゴツと打ってしまうからです。とても、痛いです。今度から、打たないようにがんばりたいです。これからも、少林寺をがんばっていきたいです。



技を上手に覚える
座間道院 高木 秋香



わたしが、少林寺をはじめたわけは、お母さんにすすめられたからです。見学に行き、自分でなりたいと思ったからです。これまでに、ならってきたわざをじょうずにできるようにがんばりたいです。これからはむずかしいわざを、少しずつおぼえていけるようにがんばりたいです。



私はママさん拳士です

座間道院 石川 比呂子

私は、少林寺サッカーの映画を見て少林寺のことを知りました。二年前の夏に誘われて、親子で見学し、今では自分だけが続いています。

まさかこの私が四十の手習いで少林寺拳法をやるとは思いもしませんでした。藤野道院長並びに助教、拳士、皆様のご指導の元、アメとムチならぬ愛のムチのおかげで運動オンチの私が見習いの白帯から茶帯の三級に昇級いたしました。

拳士の皆様とストレッチ、基本、聖句、法話、技術、整体など、今では健康のために楽しんで行っております。護身術も兼ねて藤野道院長に教わり、突き、蹴りの基本から応用に至るまで少しずつマイペースではありますが身につけていくつもりです。



須長先輩のすごい筋肉に近づくには程遠いですが、高齢になっても元気な体を維持して、現役でお稽古の相手ができるように精進していきたいと思います。

これからも皆様、お手柔らかにご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

祝 座間道院 設立 30 周年

おめでとうございます

座間道院 加藤 瑠華 高木 秋香

設立 30 周年に寄せて
座間道院 設楽 英樹

座間道院設立 30 周年おめでとうございます。

大学拳法部から座間道院に転籍した以来、早 20 年が過ぎます。この間、藤野道院長のもと、少林寺の技術はもとより、遊び方から人との付き合い方まで様々なご指導をしていただきました。また、諸先輩や同門の拳士の方々と打ち解けた雰囲気の中で、日々の稽古や諸活動を楽しんできました。おかげさまで、多くのことを学ばせて頂くと同時に、これまで少林寺の修行を続けることができました。特に日頃、先生の奥様、ご家族の皆様には大変お世話になっております。この場を借りて皆様に深く感謝の意を申し上げます。どうもありがとうございました。また、これからもよろしくお願いいたします。

ところで、最近の演武会で一期後輩の H 氏と演武をする際、道院長からの紹介で中高年の演武と紹介されました。気持ちはまだまだ若いつもりでありますが、それなりに年をとったのだなと痛感しました。一つのことを長く続けて行くためには強い動機が必要であり、若いときは自分を磨くという大きな目的がありました。もちろん、技術的にも精神的にも向上心がなくなったわけではありませんが、最近では以前と比べるとそれほど強い動機はなくなってきていると感じます。また、仕事の繁忙さ等もあり、充分には道場の活動に貢献できていないかもしれません。

あまり難しく考えてもしようがありませんが、今回の設立 30 周年を契機に、もう一度初心に帰って、自分なりに少林寺拳士としての動機付けを新たにし、日々の修行に精進してまいりたいと思います。

ところで、今回、久しぶりに道衣に手を通した OB、OG の皆様、いかがでしたか。道場でお待ちしております。

座間道院の 30 周年に寄せて
座間道院 穂積 克宏

座間道院に転籍して 20 年が過ぎ、気がつくと 43 歳となり、人生の半分近くを道院の仲間達と過ごしてきました。1 月には新年会で藤野先生夫妻に家族でご挨拶に伺うことから始まり、4 月の終わりには河口湖で研修会、7 月にバーベキュー、8 月にキャンプ、そして 12 月の稽古納めが終わると忘年会があり、1 年が終わっていきます。

若い頃には週 4 回稽古に通い、先生のお宅で夜中まで飲み翌日仕事に行くという年月があり、また、年に数回しか稽古に通わないという年月があり、様々な年を重ねて 20 年という時が過ぎました。

座間道院で少林寺拳法を続けていることや、研修会や飲み会で藤野先生や仲間達と一緒に時間を過ごさせていただいていることは、自分の生活に自然にとけ込み、おそらく切り離すことはできないものになっている気がします。

まだまだ先輩方から見れば若輩者ですが、縁があって出逢えた師匠や先輩・仲間達との時間を大切にしながら、日々の稽古を精一杯に励みながら、私自身も 30 年という時を刻んでいきたいと思っております。

30周年に寄せて
座間道院 早川 由香

思い起こせば大学2年の夏、本部合宿の指導員紹介の壇上にいたチョビヒゲのインパクトの強い先生に、これほどまで長くお世話になるとは当時の私には到底想像できないことでした。その1年後に学連主催の女子合宿で指導をお願いしたものの、私の数々の粗相で先生にご迷惑をお掛けして先輩に締め上げられ、そのお詫びに上溝のお家に伺ってからというもの、「先生」らしからぬ先生の魅力にすっかりはまってしまいました。

今では着付けにとどまらず生活全般の先生となる昌子先生に、おいしい揚げギョーザとご意見の洗礼を受けたのもその時でした。

その後たびたび道院にお邪魔した時に見かけた会社帰りのお姉さんが美佐江さんであり、大学卒業数年後に転籍して現在の相模台のお家に初めて伺った時には、先生の奥様としてもうすぐ幼稚園の祐未ちゃんとおむつのまだ取れない昴くんと共に迎えていただきました。それから何年たったでしょう。いつも突然やってくる門下生・塾生をいやな顔をせず、あたたかく迎えてくださる藤野家の皆様に、いまだにごやっかいになっている私たち助教も白髪がぼちぼち増え始め、祐未ちゃん、昴くんにもすっかり遊んでももらえなくなりました。

先日、道場をお借りしているコミュニティーセンターで演武・体験会がありました。ビデオカメラからのぞいた仲間たちはみんないい顔のおじさんであり、若者でありました。(私も自分が映せなかったのが残念ですが、いい顔のおばちゃんでしょう!)このようなおじさん、おばさんにしていただき、先生、藤野家の皆様に感謝!! 今後も先生が先頭に立って、カッコいいおじいちゃんおばあちゃんに導いてくださることでしょう。

30周年、これからに向けて
座間道院 岡野 窓

合掌

25周年の式典から5年がすぎ、30周年になり、あれから5年の歳月がすぎたかと思うと、ずいぶんといろんな事があったなと思います。

30年といったら自分が今年で34才になるので30年も道院を運営している藤野先生には頭が下がります。

今、道場には自分の中学の時の同級生の子供が練習に来ています。その子達がこれから先、あと10年、20年と少林寺拳法をつづけられるように、自分自身も修行していこうと思います。

結手

思えば今から27年前
座間道院 佐藤 久峰

今から27年前、相州共和道院へ入門し、肘抜き前天秤で腕が腫れ少林寺拳法を挫折しました。その後17年のブランクを経て復活のため、神奈川県連に電話し、当時相州共和で藤野先生に教わったことを話したら、藤野道院長の電話番号を教えてもらいました。

正直信じられなかった。変わらぬ地で少林寺拳法を続けて指導されていたことを。

こうして、34歳にて座間道院で少林寺拳法の復活となりました。そして手首が腫れ、そこらじゅうアザだらけの日々、復帰早々に足の親指を骨折した次の日、片足を引きづりながら泣く泣く出張に行ったことを思い出します。



復帰7年後に、仕事の都合で群馬県へ単身赴任となり、館林南道院へ転籍し稽古しました。

今年5月に、二年半の単身赴任から開放され、同時に座間道院への帰郷ができました。

このことで、私には、帰れる道院があり変わらない道院長と仲間がいることをつくづく嬉しく思い、そしていつ、誰が、突然、帰ってきて笑顔で迎えてくれる座間道院のスタッフであることを誇りに思っています。

大学を卒業し、社会人となる私にとって

日本体育大学 体育学部体育学科四年 座間道院 加藤 秀樹



私は大学一年の時に大学の少林寺拳法部を辞め、何でもここでして少林寺拳法をやらなければ」ならないのかと思っていたときに岐阜の増田先生から紹介していただいたのが座間道院でした。最初に道院を訪れたときはさほどやる気も無く、ただ運動できればいいというくらいしか思っていませんでした。しかし毎週運動をしに道院に行く度に少林寺拳法の深さ、面白さを感じさせられ、再びはまってしまいました。今考えると座間道院でなかったら辞めていたと思います。

たっぷりと練習量があり、技術も高いレベルで練習できたからです。設楽さんとの痛い蹴りっこが練習後に必ずあると分かっていたながらも週二回必ず練習に参加してしまうのは、やはり座間道院の練習が楽しいからだと思います。毎回藤野先生が話して下さる法話は私の日常生活の中やこれから大学を卒業し、社会人となる私にとって、とても勉強になる事ばかりでした。大学中は学校での授業と少林寺拳法しかやっていなかったような気がしますが座間道院に通わせてもらったことで普通に大学に通っているより、少林寺拳法以外でも大きなものを得られたような気がします。今年で三十周年ということですが、四十周年、五十周年とずっと活気溢れる、楽しい道院であってほしいです。

30周年に寄せて
座間道院 片野 秀明



一昨年の研修会で加藤と演武を組んだことがきっかけで座間道院に転籍しました。大会で演武を組む話を加藤に持ちかけた時、加藤の口から出た言葉は『全国大会ですかあ!』。

私もそのつもり?でいましたが、「その前に県大会があるだろ!」と突っ込んだのは言うまでもなく…。

そんなこんなで昨年は神奈川県大会で優秀賞をいただき全国大会出場となりました。

なんとか全国大会行きを決めましたが、全国の壁は厚いのか?予選突破ならず終わりました。

せっかく福井まで来たので越前蟹を食べようと、地元の人に美味しい店をたずねると今は時期ではないと一蹴。当時は越前蟹ではなく越前クラゲが大発生しておりました。

2006年は北海道で全国大会と聞いていたので、「今度は北海道で蟹だ!」となぜか夫婦で意気込んでいたものの今年も県大会突破ならず。嫁には愚痴られましたが、加藤は全国大会の常連だった先輩より上位に入れたことをかなり喜んでいたのでまあいいかと個人的に納得。

道場にほとんど顔をださない状態にあるにもかかわらず私のわがままで2年続けて加藤と演武を組ませていただき、藤野先生にはご迷惑をおかけしました。私個人として座間道院との関わりは6年ほどではありますが、転籍する前にも昇格試験前の練習などいろいろお世話になっていました。

座間道院設立30周年となりますが、私自身、座間道院が設立された昭和51年の生まれです。

今後とも私の年齢と共に35周年、40周年を迎えることを願います。

お食事処 旭庵

横浜市港北区岸根町453

TEL 045-491-4208

(県立武道館から徒歩1分)

<http://www.tim.hi-ho.ne.jp/water/asahi/>

